

西柴防災ニュース

西柴団地自治会防災部

横浜市金沢区西柴四丁目1-11

災害で頼りになるのは” 遠い親戚より近くの隣人” 防災で大切な「互近助」について考えよう

従来から、地域防災には「自助」「共助」「公助」が重要だと言われてきました。

- 自助 . . . 自分自身を守ること
- 共助 . . . 地域で助け合うこと
- 公助 . . . 警察、消防など公的機関が助けること



しかし、災害発生直後は公助が行き届くには時間がかかります。そこで大切なのが「互近助(ごきんじょ)」という考え方です。

「互近助」とは向こう三軒両隣の「ご近所同士が積極的に助け合うこと」です。1995年の阪神・淡路大震災時、救出・救助に当たった60.5%が近所の人と圧倒的に多かったことで、近所の人々の力と救助の迅速さがいかに大切かということが分かります。

「助ける」というのは実際に手を伸ばして人命を救うことだけではありません。

例えば...

近所に身体の不自由な人や高齢者、病気の人がいれば見守り、気に掛ける。

災害発生時は、元気な人が避難所の掃除をするなど、運営の手伝いを率先する。

要救助者の代わりに助けを求めたり、通報する。

安否確認したり、避難の時には声を掛ける。

いざという時に隣人の顔を知らない、隣家に何人暮らしているか分からない、とならないように、普段からほどよい距離感で気持ち良い挨拶を交わせるように、隣近所との良い関係を構築することが大切です。

出典：防災システム研究所HP

災害に対して事前に備えておきべきことについて考えよう

STEP1

住んでいる地域の危険性を把握しよう！

洪水・内水・土砂災害の危険性をハザードマップ（防災の地図）で把握しましょう。

STEP2

気象情報・避難情報等を理解しよう！

マイ・タイムライン（避難行動計画）を作成して適切な避難行動に繋げましょう。

STEP3

情報収集手段を把握しよう！

テレビやラジオ、横浜市のホームページや防災情報Eメールを活用して、いち早く情報を入手しましょう。

STEP4

避難行動を理解しよう！

避難所以外にも安全な親戚の家や、近隣の高い建物を避難場所にするなど、必要に応じてあらかじめ各家庭で検討しましょう。

STEP5

非常時の持ち出し品を準備しよう！

避難所における物資や食料は避難者の持参が原則です。事前に準備して、避難を最優先にして可能な限り持参しましょう。

非常時の持ち出し品リスト

●家族構成を踏まえて、必要なものを選びましょう。



救急・安全

救急セット（包帯・絆創膏）



常備薬

メガネ
コンタクトレンズなど



貴重品

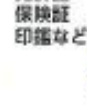
預金通帳



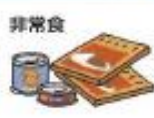
現金



免許証
保険証
印鑑など



水・食料



ミルク（液体ミルク等）



※お湯も各自でお持ちください。

日用品



衣類



出典：横浜市マイタイムライン作成方法

国土交通省 マイタイムラインを作るためのヒント集

マイ・タイムライン(避難行動計画)を作成してみよう！

確認するべき事に	ハザードマップでチェック	家庭の状況のチェック	避難先のチェック
	あなたの住んでいる地域は？ ☐ 洪水浸水指定区域 ☐ 土砂災害警戒区域	避難に支援を必要とする人： (高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など) ☐ 無 ☐ 有	ハザードマップに記載されている避難所 【移動手段： 】 【移動時間： 】

警戒レベル	警戒レベル相当情報	行動の目安	私の計画 他に必要なものを記載してみよう
 レベル 1	●大雨予報 ●台風発生	＊気象情報をチェックする ＊1週間分の薬を用意する ＊家の周りに飛ばされる物がないか確認する ＊備蓄品の確認	
レベル 2	●大雨注意報 ●洪水注意報等	＊携帯電話を充電する ＊避難場所・避難手段を確認する ＊注意情報の確認 ＊家族に連絡	
 レベル 3	●氾濫警戒情報 ●大雨・洪水警報等	＊通行止め情報を確認する ＊避難準備をする ＊避難指示を確認する 高齢者や避難に時間を要する人は避難開始！	
レベル 4	●氾濫危険情報 ●土砂災害警戒情報等	 避難指示が出たら危険な場所から全員避難！	
レベル 5	●氾濫危険情報 ●土砂災害警戒情報等	⚠ 直ちに安全確保 ⚠ 命を守る最善の行動	

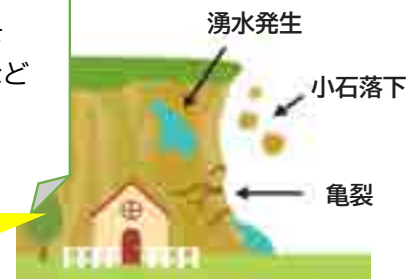
【車避難の注意点】

令和元年の台風19号では、車で避難中に道路の陥没や崩落で亡くなったケースが多くありました。車を活用した避難については、早い段階で実施しましょう。
 ※行政が開設する避難場所への車の駐車は原則禁止となります。

土砂災害の危険

- 小石がパラパラ落下
- 斜面に亀裂が発生など
- 斜面に湧水が発生

**崖崩れの
前兆現象**



西柴小学校の災害時仮設トイレと給水場をご紹介します

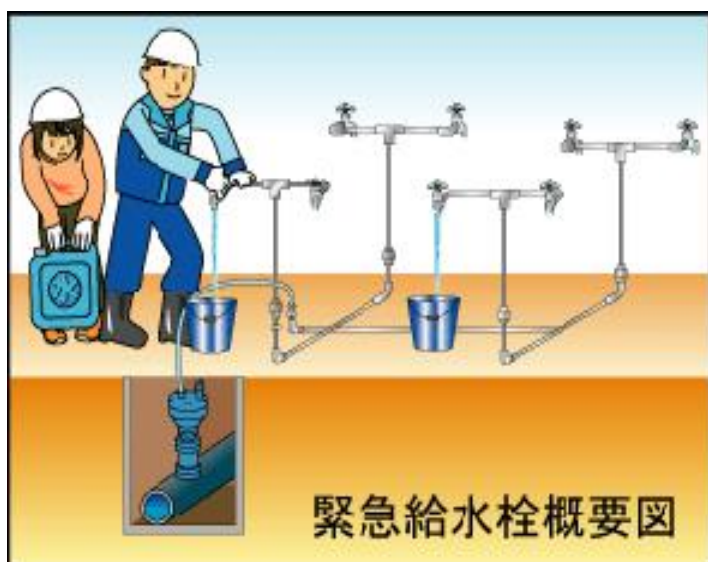


西柴小学校

災害時下水直結式仮設トイレ

地域防災拠点等に整備を進めている公共下水道に直結した仮設トイレです。

西柴小学校の校庭に杭が挿してある箇所（赤丸）に仮設トイレを設置して使用します。



災害時給水所のぼり

緊急給水栓

災害時、地震に強い管に臨時の給水装置を取り付けて給水する施設です。

おおむね発災4日目以降、水道局職員が断水状況を踏まえ、横浜市管工事協同組合とともに順次、仮設の蛇口を取り付けます。

給水準備の整った緊急給水栓は、「のぼり」でお知らせします。

出典：横浜市HP 防災災害対策